



宮司プレス 104号

彦島八幡宮 宮司 ニューズ
発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十七年 六月 三十日

◇宮司の柴田です。 お待たせしました、

宮司プレス第百四号の発行です。 実は、五ヶ月遅れを何とか挽回(ばんかい)しようとして、新たな発行計画を策定するのですが、昨年十月からの毎月一回のペースを維持するのも、おぼつかない現状です。 今年も、雨が多く、しかも気温が低いようで、昨年と比べてしのごやすい梅雨のようです。 「五風十雨(ごふうじゅうう)」という言葉ご存知でしょうか。 五日に一度風が吹き、十日に一度雨が降ること、転じて、風雨その時を得て、農作上好都合で、天下の太平なこと。 しかしながら、この二十一世紀の世界は、人口の急増と都市化、エネルギー消費の爆発的増大、二酸化炭素排出量の急増が、加速しています。 その「人口増加」「二酸化炭素排出量増加」によって引き起こされる「温暖化」「異常気象」が、地球的な課題となっています。 海水温が二度上昇すると、台風強度は二倍になるともいわれています。 昨年の夏は、そのことを予感させるような台風の多い年でありました。 天下太平の天候ではない

ということを自覚する必要があります。 私共も、来るべき大きな災害に備えなければなりません。 吉田松陰先生は、「備えとは武器にあらざ 心構え」と唱えられ、その心構えこそ「大和心(やまとこころ)」であると説かれました。 大いなる和(やわ)らぎで、日本人の持つ、やわらいだやさしい心情です。

◇日本画家の堀文子さんも、「日本は災害の多い国ですが、それが人を思いやる心や惻隱(そくいん)の情、無常観といった美意識を養ってきた。 苦難を乗り越えた先には、次の発展がある。」と述べられています。 ちなみに、「惻隱の情」とは、人をいたわしく思う心やあわれみの気持ちのことです。

◇ケネディ大統領の「日本が敗戦から早く復興できた秘密は何か」という質問に、当時の外務大臣、後の首相となった大平さんは、「災害が多いこと」を挙げられました。 ケネディ大統領は、怪訝(けげん)な顔をされたそうです。 さらに続けて、「日本人は耐えて、克服し、災害前よりは日本をよくするんだ」という気概を持ってきた。 この力こそが復興

の原動力だ」と答えられたそうです。

◇私は、吉田松陰先生の仰(おつしや)った「大和心」や堀文子さんの言われた「思いやる心」「惻隱の情」は、日本人のオブリージユだと思えます。 オブリージュとは、フランス語で、果たすべき義務の事ですが、日本人が忘れてはならない心構えだと考えます。 ◇さて、みなさん、「風花(かざはな)」という言葉を知っていますか。 晴天にちらつく雪のことで、風上の降雪地(こうせつち)から風に送られてまばらに飛来する雪のことです。 最近、葉室麟(はむろ りん)さん著作の「風花帖」という本を読みました。 主人公は、「お主は、清く生きようとしずぎる。 人は、どれほど汚れてもよい生き物だとは思わぬか。」とある人から言われます。 主人公である印南新六は、「思うております。 天から降る穢(けが)れなき雪も地に落ちれば泥になります。 されど、落ちるまでの美しさは、人の心をなごめ癒(いや)してくれます」と答えたのです。 まさしく「風花」の美しさ(いさぎよ)さの生き方なのであります。 感激のあまり落涙しました。 神社神道は、「意識宗教」とも言われまして、見て感じるのであります。 地に落ちて泥にならない、落ちるまでの美しさ「風花」に近づく日々を送らなければと思いを新たにしています。 目に見えない大きな力、大自然の営みに感謝しながら、「五

風十雨」の天下太平を祈り、「大和心」を忘れずに、運命共同体としての地域社会を構築したいものです。そして、大平首相の仰った「よくするんだ」という気概、宮司プレスの前号にも記述しました「きつとよくなるんだ」という希望を共有する地域社会、それこそが、大きな災害への「備え」となるはずで
す。ご自愛ください。

◇五月の祭典行事報告

▼月次祭 *五月一日、十五日

▼塩釜神社例祭 *五月六日



▼福浦金刀比羅宮例祭

*前夜祭 五月十六日



*本殿祭御神幸祭 *五月十七日



▼朝粥会 *五月二十一日



◇五月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◆奉賛会総会 *五月三十一日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◆山口県神社庁役員会 *五月十四日

◆山口県八幡宮会役員会 *五月十四日

◆美しい日本の憲法を作る山口県民会議

役員会 *五月三十日

▼西ローターリークラブ

◆例会 *五月十三日、二十日(当宮)

五月二十七日



◆クラブ協議会 *五月二十七日

▼教誨(きょうかい)活動 美祿社会復帰促

進センター

◆集合教誨(女子) *五月十一日

◆集合教誨(男子) *五月二十五日

▼西山小CS(コミュニケーションスクール)

◆運営協議会 *五月二十日

◆歓送迎会 *五月二十二日

▼玄洋中CS

◆運営協議会 *五月二十一日

▼講演活動

◆下関平家踊保存会総会 *五月十日



▼下関中央倫理法人会経営者モーニングセ

ミナー *五月二十一日

※当宮、朝粥会行事に参加

▼宮司プレス発行

◆第百三号 *五月三十一日